



2017年4月28日
NPO法人 北海道遺産協議会
イオン北海道株式会社
マックスバリュ北海道株式会社

2016年度寄付金による 「ほっかいどう遺産WAON」 北海道遺産 保全・活用の助成スタート

北海道のイオングループ（イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社）は、ほっかいどう遺産WAONの利用金額の0.1%をNPO法人北海道遺産協議会（以下、北海道遺産協議会）に毎年寄付し、北海道遺産の保全活動にお役立ていただいております。この度、北海道遺産協議会が、今年度の助成活動の募集を開始いたしましたのでご案内申し上げます。

「ほっかいどう遺産WAON」は、北海道とイオン株式会社の包括連携協定の取組みの一つとして、2011年7月に発行されました。2015年度のほっかいどう遺産WAONの寄付総額は約1,434万9,557円となり、その一部は「北の縄文文化遺跡群の魅力発信事業」や「風景と記憶の森へ～地形とアイヌ語地名から読み解く白老・登別～」の企画展など15件（800万円）の北海道遺産の保全活動に活用されました。そしてこの度、2016年度の寄付金（総額1,455万6,220円）による北海道遺産の保全・活用のための活動提案を4月28日（金）より募集することとなりました。ご応募いただいた中から、今年度は総額900万円（①1件あたり100万円程度を3件、②1件あたり30～50万円程度を12件、③1件あたり15万円以下を7～8件程度）の助成を予定しております。

また、北海道のイオングループは、今後も北海道の新たな魅力を発信するため、北海道遺産協議会とサッポロビール株式会社と連携し、北海道150年事業に参画いたします。なお、2018年に実施予定の北海道遺産の追加選定事業および関連する各種プロモーションによる北海道遺産の更なるPRの実施を予定しております。

イオンは、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、北海道との連携を深め、北海道の活性化や道民の皆さまへ新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

【ほっかいどう遺産WAONの概要について】



発行日：2011年7月28日
発行枚数：約20万枚（2017年2月末現在）
使用可能場所：道内約4,000箇所
（2017年2月末現在）
寄付総額：2016年度 14,556,220円
2015年度 14,349,557円
2014年度 13,572,642円
2013年度 10,770,365円
2012年度 8,192,259円
2011年度 2,354,115円

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 総務部広報 佐藤・山崎

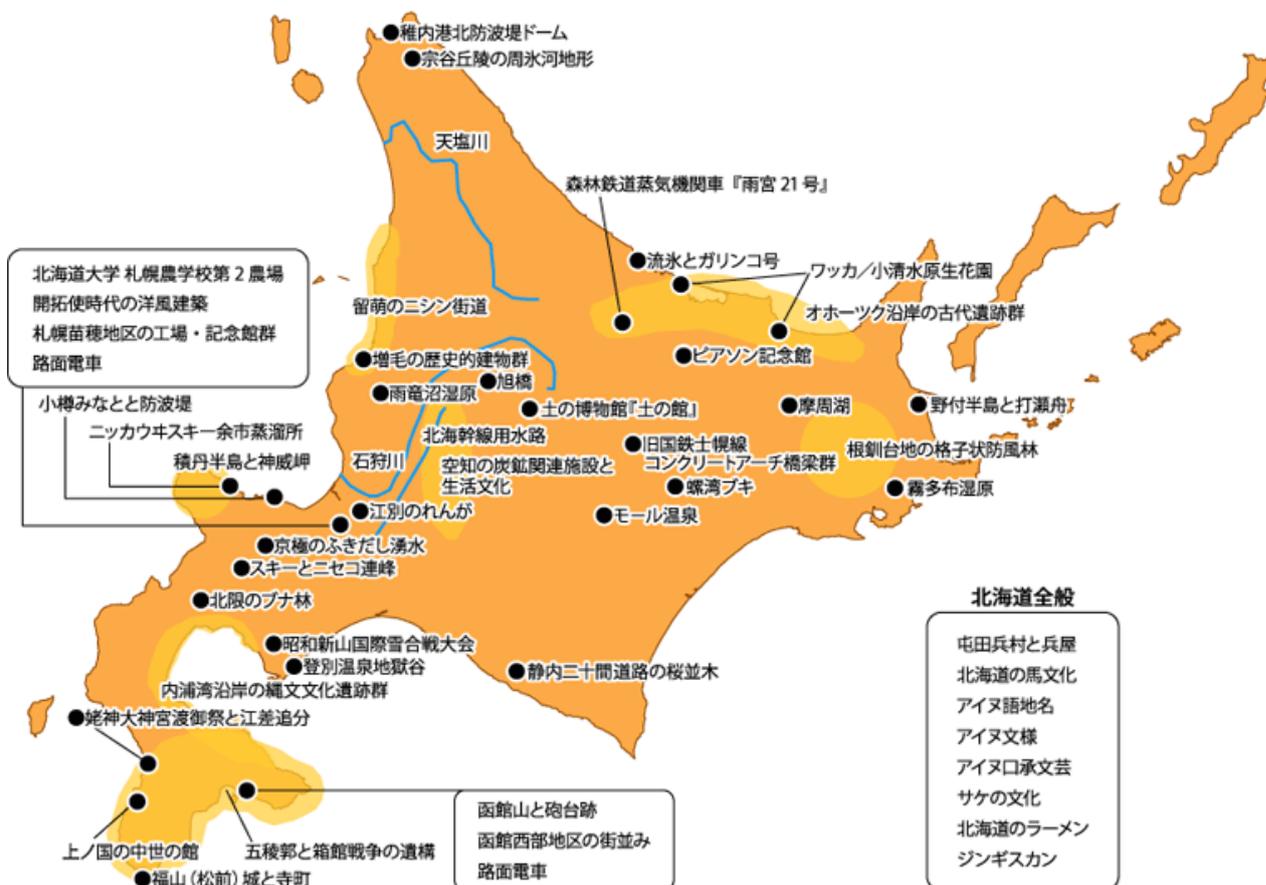
電話：011-865-9111

【ご参照】

◆北海道遺産について

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加によって選ばれました。

2001年10月22日に第1回選定分25件が、また、2004年10月22日に第2回選定分27件が決定・公表され、北海道遺産は総計52件となりました。



※「ほっかいどう遺産WAON」寄付金による2017年度助成活動募集開始について、詳しくは、北海道遺産の公式サイトをご確認ください。

北海道遺産公式サイト <http://www.hokkaidoisan.org/>

◆「北海道150年事業」について

2018年に、北海道が「北海道」と命名されてから150年目の節目を迎えます。北海道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、1869年7月に、松浦武四郎が「北加伊道」を含む6つの名前を候補とする意見書を明治政府に提案し、その後8月15日に、太政官布告によって「北海道」と命名されました。

北海道では、北海道命名150年の記念事業を推進することを目的として、2016年11月7日に北海道150年事業実行委員会を設立しました。この「北海道150年事業」は、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、道民・企業・団体など一体となってマイルストーン(通過点の節目)として祝うとともに、未来を展望しながら、互いを認め合う共生の社会を目指して、次の50年に向けた北海道づくりに継承することを基本理念としております。